



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡司教区
編集人 山元 真
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

6月の意向

【教皇の意向】 祖国から逃れる人々
【日本の教会】 病に苦しむ人々
教皇の意向のために祈りましょう

アド・リミナ報告
使徒ペトロ・パウロの墓参りと教皇謁見
福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教



フランシスコ教皇と笑顔で握手を交わすアベイヤ司教

ナ訪問をするこ
とが定められて
います。

アド・リミナ
の本来の意味
は、使徒聖ペト
ロと使徒聖パウ
ロの墓を訪ねる
ということであ
ります。

アド・リミナ
リミナ訪問は、
全世界の教会と
の深いつながり
を確認するとき
であり、教皇の
祝福と指導をい
たたくときです。

4月8日(月)から12日(金)まで、日本の司教団はローマへ出向いて行きました。「アド・リミナ」と言われている、教皇や聖座の各都省への定期訪問を行うためでした。カトリック教会では、各国の司教団は定期的にこのアド・リミ

8日(月)から11日(木)にかけては、聖座の各都省を訪れました。それぞれの都省が担当している事柄について、

インチョン
**仁川教区から
司教・司祭団訪問**
共同司式ミサ
6月10日(月) 17時~
於:カテドラル大名町教会
6月10日(月)から14日(金)まで、仁川教区から、洗礼者ヨハネ 鄭 信喆 (ジョン・シンチョル) 司教様と15人の司祭による訪問団が福岡教区を訪問されます。
昨年、仁川教区のご厚意により、教区司祭の黙想会を仁川教区の黙想の家で実施いたしました。今回の訪問団により、両教区の交流が更に深められていきますように。
ミサには、信徒の皆さんもぜひご参加ください。

アド・リミナ訪問の準備として、各都省がレポートを前もって送ったので、各都省に課題はある程度伝わっていたと言います。それらを参考にしながら自由に話し合いが行われたのです。各都省の責任者の姿勢は、何をすべきかを伝えるのではなく、どのようなことができるかを聞くというものでした。

4月28日(日)に大名町教会で、福岡教区青年センター「カタラント」開設記念インチョナルミサが開催され、



「カタラント」を祝別するアベイヤ司教(中央)
(左:桑原篤史神父、右:ジョン・ウオンチョル神父)

福するために、ミサ後にはアベイヤ司教様によるセンターの祝別式と、記念パーティーも行われました。青年

福岡教区青年センター「カタラント」開設
記念インチョナルミサと
祝賀パーティー大成功!

12日に聖ペトロの墓の前でミサを捧げてから、教皇様に温かく迎え入れられて、励ましの言葉をいただきました。教皇様は、日本における福音宣教、司祭職や奉獻生活への召し出し等について聞かれましたし、平和への思いを改めて強調されました。また、教会の一致を確かなものに、共同体の交わりを深める必要性や、シノドスの歩みへの積極的な参加を呼びかけられたのです。私たちの方からは、教皇様の日本司牧訪問(2019年)や、その時にいただいたメッセージに対して感謝を表明し、教皇様が示された指針に従って歩んでいきたいと申し上げました。

慌ただしい一週間でしたが、全世界の教会と心合わせて歩んで行く決意を改めると決しました。大名町教会が教区のセンターを兼ねてい

時の話題

若者の力は、
私たちの想像をはるかに超える

「青年のための場所が必要ではないか」と、福岡教区の青少年委員会の司祭団と教区の青年たちの声を受けて、福岡教区青年センター「カタラント」が開設された。司教を交えた話し合いの上、福岡力テ

11月4日には、「第1回福岡教区青年大会」を計画している。この良い流れと関係性を継続して、若い力で福岡教区を盛り上げていってほしい。将来の福岡教区は、彼らの手にゆだねられている。彼らは私たちの想像を超えることを成し遂げてくれるはずだ。それを司教と司祭団が一致して支えていきたい。

聖アウグスチノ修道会
桑原 篤史神父
(笹丘教会助任)

ること、若者や人が集まり易いことを考えても、この場所以外に相応しい場所は考えられなかった。福岡教区長・アベイヤ司教の許可が出たので、後は運営するだけであった。

を是るかに超えていた。あの熱気を体験することができた青年たちは、一つの大きな成功体験をしたと思

長い間、批判することはよくないことだと思っていた。神学生時代には素直であることが求められ、それは同時に従順であることだった。批判することはよくないことだった。教えられることを素直に受け入れ、批判や批評は好ま

「アド・リミナ」の様子が、下記QRコードからご覧いただけます。

「カタラント」は、「語る」と、博多弁で「参加する」という意味の「かたる」、ギリシャ語で賜物という意味の「タラント」という言葉を合わせてできた名前です。私は今後、私のように自分に自信がない人、落ち込んでいる人、居場所がないと思っている人にも「カタラント」に来て欲しいです。全ての人が笑顔で思いきり楽しめる、そして、来て良かったと思ってもらえる、そんな福岡教区の青年センターにしたいと心から願っています。オープン時間等は下記QRコードからご確認ください。「カタラント」でお会いしましょう! 福岡地区青年会 森 拓夢 (笹丘教会)

素直に受け入れてきたことを見直し、考え直してみた。天国、煉獄、地獄のこと。アダムとエバのこと。世界の初め、人類の誕生と宇宙の歴史のこと。罪と罰。救い。喜びと悲しみ。他宗教、多宗教の存在。そして、イエスの生き方、死に方、その後のこと。これらの大切なテーマに疑問を持つこともなく、今で言う「スルー」してきた自分自身の在り方に疑問をもつようになった。疑問をもつことも、批判することも罪ではない。むしろ、そこから真実に近づくことができる。今では確信している。(Y)

福岡教区のアプリができました。スマートフォンで教区情報を簡単に得ることができます。詳細は教区ホームページでご確認ください。

福岡教区 現勢報告 2023年 (2023年1月～12月)

Table with columns: 教会名, 在籍信徒数 (男, 女, 合計), 居所不明者, 死亡, 洗礼 (幼児, 成人), ミサ参加者数 (主日, 復活祭, 降誕祭, 外国語ミサ).

【注】 在籍信徒数は居所不明者を含めた数。またミサの参加者数は、今なお続くコロナ感染症拡大防止への対応の数字が反映されていると思われる。

今回の議題は、①教区創立100周年について②集会祭儀の司会者の養成について③外国語ミサでの献金の取り扱いについて(現状報告)。これらの諸問事項について評議員による審議がなされた。審議の具体的な結果がそれぞれ委員会、部会等で実践されていくことになる。

2023年はコロナ禍の影響から徐々に回復するようだが、社会がやると日常に戻るような雰囲気であった。教会の主日ミサ参加率も、コロナ禍の影響が一番強かった2021

年の15.8%と比べて、2023年は17.6%と徐々に上がってきていることが確認できた。しかし、コロナ禍前の参加率である20%台まで回復するにはまだ時間がかかるように見える。

「カトリック司牧研究所」では、「全般的に教会の秘跡の活動は回復局面に入っているが、パンデミックの衝撃とそれに慣れてしまった信徒たちにとって、再び教会へ足を運ぶことは難しく見える」と指摘し、また「時間の経過で自然に解決できる問題ではないことを考えると、教会の積極的な努力が必要である」との見解を述べた。

以前の姿を取り戻そうとの動きがある。しかし、ミサや長い間集いがなかった影響は大きい。その影響を無くするためには、小教区や教区での様々な講座や祈り、黙想会や行事を通して、積極的にコロナ禍前の活気を取り戻す必要がある。

また今回の現勢報告の中で注目すべきポイントは、今年から集計を始めた外国語ミサの参加者数である。外国出身の司牧者たちの働きにより、在籍信徒の7%の外国人が同体形成され活発に活動を行っている。国籍、文化の差を乗り越え多様性を保つ教区の姿が現れる場面で

ある。教区の現勢報告は過去を振り返り、今現在の居場所を確認することができる指標である。教区100周年に向けて

今この状況を把握し、未来に進む教会を目指そう。広報委員会 H P部 ジョン・ウォンチヨル神父 (大名町教会助任)

福岡教区のミサ参加率



2023 福岡教区現勢報告 コロナ禍前後のミサ参加率を 韓国の教会と比較して

韓国教会のミサ参加率



報告：イ・スンハン記者 (韓国カトリック新聞)

Table comparing Mass participation rates between the Fukuoka Diocese and the Korean Church from 2013 to 2023.

4月30日(火)、大名町教会1階ホールにて今年度初めての司祭評議会が開かれた。司祭評議会は教区長である司教をはじめ、司教総代理、教区内で宣教司牧に携わっている司祭の中から互選で選ばれた司祭、また司教が選出した司祭の他、教区事務局局長、教区会計によって構成され、現在23人の司祭が評議員を務めている。

司祭評議会は全司祭を代表する教区司教の諮問機関で、その目的は「司祭の生活と役割に関する事項並びに宣教及び司牧などの善益を最も効果的に促進するための実際的な結論や適宜な基準の樹立を示

ともに歩む教会を目指して 第1回 司祭評議会

サンパウロ 福岡宣教センター 営業時間: 10:00~18:00 定休日: 日曜日・祝日

不動産全般/売買・賃貸・管理 株式会社 ジャパン・スマイルか

総合建築業 株式会社 森山工務店

別れ・出逢い・旅立ち 草苑 (SOU-EN) カトリックのご葬儀

知りたい！
福岡教区内の
修道会
宣教会②③

福岡教区には現在30の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。一昨年春より紹介している、その修道会や宣教会。第23回は、ミラノ外国宣教会です。

ミラノ外国宣教会

ミラノ外国宣教会日本管区の会員たち



ミラノ外国宣教会は使徒的生活の会、教皇庁立外国宣教会です。イエス様の命令は「全世界に行って、全ての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」(マルコ16・15)です。

1850年、アンジェロ・ラマツォティ司祭によってイタリアのサロンノ市で創立されました。日本での宣教活動開始は1950年。日本にはすでにパリミッシン会があったのでミラノ会と名乗りましたが、正式名称は「PIME」(伊語でP(Pontificio:教皇庁)、I(Istituto:会)、M(Missioni:宣教)、E(Estere:外国)の頭文字でPIME)、日本語で「教皇庁立外国宣教会」です。ミラノは入っていません。「ミラノ外国宣教会」という名称は日本だけです。70年前に横浜教区と福岡教区がPIMEを受け入れてくれたので、山梨県と佐賀県で働くことになりました。

ミラノ外国宣教会は布教聖省の直轄であり、使徒的生活をする会で誓願は立てません。兄弟のように生き、福音的清貧を守り、み言葉や聖体祭儀が宣教活動の中心です。諸民族、諸文化の中に信仰を育て、地域教会の司教に奉仕し、その司祭団と交流し、他宗教の信者と交流し、そこに見られる真理の種を受け入れた信仰育成を常に心に留めています。

私は1965年来日し山梨に赴任しました。1972年に鳥栖教会へ来て11年間働きました。その間、佐賀県の主任司祭たちが月に一度集まり励まし合ったり、時に福岡県の小郡教会や今村教会、久留米教会に出かけ、当時の主任司祭たちと聖書の勉強などをしたりしました。一番楽しい集いは年末の福岡でのミサと、司教館での司祭と神学生たちも交えた賑やかなパーティー。やはり、教区の司祭たちと励まし合い共に活動することは最高に喜ばしいことです。

今では福岡教区にミラノ外国宣教会の司祭は二人しかいませんが、若い司祭が増えて、教区司祭と共に宣教活動に励んでいければと切に願います。ピアツィニ・ジュセッペ (聖マリア病院チャプレン)

4月27日(土)午後2時から、カトリック大名町教会大聖堂で開かれた学習会には、約130人の参加があり、関東など遠隔地からも駆けつけてくださり感謝でした。



「社会福音ネットワーク・福岡」学習会
袴田事件から考える
生命の尊厳と死刑廃止について

91歳になられた袴田秀子さんは生地が白く、赤い鮮血が付いていたが、山崎氏が行った実験では、生地は味噌色に染まり血も分らないという結果を出し、それが再審につながったとのこと。続いて袴田巖さんの姉の秀子さんが、これまでの想いや、巖さんがカトリックに信じた経緯、最近の様子などを語ってくださいました。

「無実の死刑囚・袴田巖さんを救う会」の副代表・門間幸枝さん(カトリック清瀬教会)からは活動の紹介があり、呼びかけによる署名約1000人分、支援カンパ約2万9千円が集まり、カンパは秀子さんにお渡しできました。その後、巖さんに対し「無罪の心証を持って」と告白した、一番静岡地裁の故熊本典道裁



ナポリ・アヴェルサ教区カンパーニア州
ジュリアナ小教区のルイジ神父さまと

神父・船津亮太の
ローマからの手紙②

判官(古賀カトリック教会)の連れ合いである島内和子さん(福岡市)が紹介されました。また福岡事件再審キャンペーン事務局の古川龍樹住職(生命山シユバイツァー寺)からは、同じく冤罪が疑われる福岡事件(詳細は下記QRコードから)の概説と支援要請もあり、最後に中村彰神父様(大名町教会主任)が「イ

エス様も冤罪で死刑になった方。良い学びの時でした」と挨拶され祈りをもちて閉会しました。冤罪事件がなくならない現状で死刑制度を存置しているのか、皆で考える良い機会となりました。大名町教会 報告 増井玲子

ローマに来て2年が経った。沢山の人が出会った。たとえば昨年の冬休みはナポリで。携帯電話のかけ方が分からないから教えて欲しいと聞いてくるご婦人。いわゆる「教会の隣の喫茶店は私の子どもがやっているから、いつでもコーヒー飲んでね」と。信徒会館



分かち合いでの質問に答えるSr.マリア

5月6日(月・振替休日)、カテドラル大名町教会で20の修道院から会員40人が集まり総会が行われました。9時から始まった受付では、久しぶりに会う会員同士が、手を握り合い喜びを表している微笑ましい姿がありました。

福岡教区 修道女連盟総会
宗教間対話に女性の働きかけを

9時半から、マリア布教修道会Sr.マリア・デ・ジョルジによる「諸宗教と修道生活」の講話がありました。対話とは何かの導入から始まり、1964年聖パウロ6世の回勅「エクレジウム・スラム」や、1965年第二バチカン公会議での「キリスト教以外の諸宗教に対する教会の態度」に触れ、対話は使徒として重要な使命であること、そして、2003年第63回世界修道会総長会において「諸宗教間対話は、今日の奉獻生活

で会うといつも必ず「カフエエ？」と聞いてコーヒーを勧めてくれるお爺さん。教会の鍵閉めを受け持つこのお爺さん、主任司祭の叔父にあたる方なので「ツイオ(No)」(「おじ」と皆から呼ばれている。「山鳩(fortore)」のアクセントは後ろじゃなく前に来るのよ」と私の福音朗読のイタリア語の発音を正してくださいました。いつも朗読台の前の席から私の発音をチェックしてくれる。10歳になる女の子は、食事中、私が「お嬢さんは、何を召し上がりになりますか？」と敬語を使って声をかけると、照れくさいのと嬉しいのがないまぜになったような笑みを浮かべる。その女の子のパパは食事中ずっとナポリ方言で喋る生粋のナポリ人。私が方言を知りたいと言ったら目を輝かせ、椅子ごと持って近づいてきて、教えてくれた。

2年前には想像だにできなかった数々の出会い。神に感謝！そして今年の夏休みは、世俗を離れ、北イタリアのシトー会の修道院に2週間ほど滞在し、その後ドイツはケルン郊外の観想修道会系の修道院にて1週間ほど、カリタス会の日本人シスターと黙想の日々を過ごす予定。日本も恋しいのだが。:

故郷を訪ねて

アド・リミナを終え、5年ぶりに故郷を訪ねることができました。家族や友人との出会いの中で色々な話ができ、喜びのひとときでした。5年の間に、2人の甥に生まれた子どもたちと初めて会うこともできました。元気な男の子たちです。また、家族が集って、5年の間に天に旅立った家族のメンバーのためにミサを捧げ、多くの思い出を分かち合えたのです。家族の絆は強いものだ改めて感じました。所属するクラレチアン会の兄弟たちにも会い、お互いに携わっている使徒職や、抱えている課題について分かち合うことができ励まされました。いくつかの共同体を訪ねましたが、メンバーの国籍は様々で、多様性の豊かさが感じられました。と同時に、私の出身管区では養成を受けている若い兄弟がおらず、寂しい思いもしました。

また、故郷の料理を食べて「美味しいな」と感じました。妹や友人が、得意な料理を作ってくれたのです。食べ物の味とともに自分の生まれ育った文化を味わい、そして、育てくれた親に対する深い感謝を味わうことができました。3週間留守をしましたが、いただいた力から活かしたいと思います。



スペインのご家族とハイキング

ヨゼフ・アベイヤ

総会では2023年の報告・承認、2024年の計画案の審議・承認を受けました。福岡教区に4つの在俗会、18の修道会が派遣されています。福岡教区に派遣されている福岡教区修道女連盟会員231人です。2024年の日々をそれぞれの置かれた場で、三誓願の恵みを愛と喜びの内に歩み始めています。福岡教区・修道女連盟会長 Sr.金公女(幼きイエス会)



☆境界を越える
神の救いの計画
カフンディ・オノレ(著)



神の救いの計画における諸宗教の位置づけを検討し、寛容や差別、抑圧や対立を乗り越える、宗教間対話の新たな取り組みを提示する。※動画による著者からのメッセージが下記よりご覧いただけます。オリエンス宗教研究所発行 税込価格1980円

広告掲載をご希望の方は下記までお問い合わせください
福岡教区本部事務局 広報部
電話 : 092-522-4059
メール : cdf-kouhou@nifty.com
※この枠で1回(ひと月)5,000円の献金(目安)をお願いしております。
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか
URL : http://www.st-mary-med.or.jp/

年間目標

互いに支え合う
交わりの教会となる

大濠カトリック会館からのお知らせ
「個人黙想」をしてみませんか



イエスは過越祭を祝うために、ある家の2階の広間で準備するように2人の弟子を遣わしました(マルコ14・15)。そこは最後の晩餐が行われ、また復活後、マ

リアをはじめ使徒たちと他の弟子たちが集まっていた場所です(使徒言行録1・13)。

2023年度から、福岡教区に「大濠カトリック会館・宣教養成センター」が開設されました。福岡市民の憩いの場、大濠公園のすぐそばにある大濠カトリック会館には、慌ただしい日常生活から離れて心も体もちょっとひと休みできる静かな場所が待っています。空調設備の整った15の個室があり、黙想会や養成プログラムのために日帰りだけでなく、宿泊もできます。心の癒い、リフレッシュの機会としての「個人黙想」の場です。センターの2階には聖堂があり、和の雰囲気は心を落ち着かせてくれます。主の足元に座り、静かな時間を過ごす。聖体訪問だけでなく、もう一つの貴重な体験。次々に押し寄せる予定や打ち合わせなどに追われることなく、数時間から半日、または一泊という形で個人黙想の体験をしてみませんか。

みことばをゆっくり読み、聖体の前で黙想し、信仰生活を振り返り、思いめぐらすこと。祈るとは、もろもろの祈りを数多く唱えるのではなく、沈黙のうちに留まることです。霊的生活の一環として、このような習慣を身につけていきましょう。

日頃、一生懸命がんばっている自分へのご褒美として静かなひとときをプレゼントしてはいかがでしょうか。下見だけでもどうぞお気軽にお訪ねください。



利用申し込みは下記QRコードから

福岡教区主催「2024 平和を祈る集い」
絵・俳句・川柳・短歌の募集 ご案内

「2024 平和を祈る集い」では、「平和」をテーマに上記を募集いたします。作品は当日、大名町教会講堂もしくはロビーに掲示します。(応募締め切り 2024年7月31日)

【応募先】

- ①郵送 〒810-0028 福岡市中央区浄水通6-28 教区本部事務局「平和を祈る集い 作品受付窓口」
- ②Eメール cdf-kouhou@nifty.com 送信時件名「平和を祈る集い 作品応募」

福岡教区ハンドブック2024 発行

「ハンドブック2024」は、各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。また、スマホやPC用に、PDFによる配布も行なっています。詳細は各小教区にお知らせを配布しておりますので、ご覧の上お申し付けください。

召命を共に祈る会

- 福岡地区 6月18日(火)13時30分～ 笹丘教会 ミサ 桑原篤史神父(笹丘教会助任) [問合せ先] ☎092・921・4532 山口
- 北九州地区 6月8日(土)14時～ 小倉教会 ミサ 谷口尚志神父(水巻・直方教会主任) 徐 仁徳神父(若松・戸畑教会主任) [問合せ先] ☎0949・24・9905 藤井

各種団体の定例会

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報6月号」、または右記QRコードからご確認ください。



福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

実践!」の想いです。(W) すが、福岡教区の現勢報告も 踏まえ、気持ちは新たに「即 変興味深い内容でした。大 書は注目していることにも報告 惹かれて教会の門を叩いたと 厳かな雰囲気や静謐さなど)に 品ある儀式・音楽や所作、荘 資産(美しい建物や装飾、霊的 の声や、教会の文化的・霊的 んだ教会の姿を見出した)と して、開かれた教会、多様に富 区の人々、彼ら彼女らを通じて、開かれた教会、人を歓迎 司祭、楽しそうに活発な小教 すが、話を開いてくれる ますが、話を開いてくれる なた、気になる受洗の理由 なた、気になる受洗の理由 なた、気になる受洗の理由

案内板

会合と催し

6月のこよみ

「福岡教区ハンドブック2024」お詫びと訂正

- ・P.106 司祭評議会
× 渡辺 隆義 神父
○ 下町 豊重 神父
- ・P.109 北九州地区宣教司牧評議会
× 高野 誠二 × 山田 公生
○ 緒方 久 ○ 丸田 宏幸
- ・P. 51 箱崎教会ミサ時間
× [英] 日 1800 → ○ [英] 月 1800
心よりお詫び申し上げ訂正いたします。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：真の幸せへの道
日 時：6月13日(木) 10時～15時
内 容：「義に飢え渴く人々は、幸いである」
指 導 者：C.クラウドディオ神父(聖ザベリオ宣教会)
次 回：7月11日(木) 10時～15時
内 容：「憐れみ深い人々は、幸いである」
指 導 者：C.クラウドディオ神父(聖ザベリオ宣教会)
問 合 せ 先：真命山諸宗教対話センター
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町崎浦1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記 QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。



- 【6月】
1日(土) 水巻聖母幼稚園・講演
福岡地区カトリック女性の会総会(大名)
2日(日) キリストの聖体 島崎教会司牧訪問
教区創立100周年委員会(大名)
4日(火) (宗法)幼稚園 園長会・理事会
6日(木) 常任司教委員会(東京)
司祭生涯養成委員会(東京)
7日(金) イエスのみこころ
9日(日) 年間第10主日 佐賀教会司牧訪問
佐賀地区研修会
10日(月) 仁川教区の教区長と司祭来福
集会と合同ミサ(大名町教会)
11日(火) 経済問題評議会
13日(木) 長崎教会管区・難民移住移動者委員会(美野島)
16日(日) 年間第11主日 人吉教会司牧訪問
17日(月) 教区司祭黙想会(大分・亀川修道院～21日)
22日(土) 北九州地区幼稚園 教職員研修会
23日(日) 年間第12主日 聖ペトロ使徒座への献金
筑後地区研修会
24日(月) 洗礼者聖ヨハネの誕生
25日(火) 教区司教顧問会(決算)
29日(土) 聖ペトロ 聖パウロ使徒
30日(日) 年間第13主日
武蔵ヶ丘教会訪問 福岡教区宣教司牧評議会
- 【7月】
1日(月) 聖ペトロ岐部と187殉教者
3日(水) 聖トマ使徒
4日(木) 常任司教委員会(東京)
6日(土) 高遊原教会司牧訪問
7日(日) 年間第14主日 健軍教会司牧訪問

■ゴシックは司教日程

集いの詳細は、
各問合せ先に
お尋ねください。

- 美野島司牧センター
ホームレスの方に温かい食 事と衣類 毎週火曜日10時
○ホームレス支援炊き出し
第1・第3金曜日
調理 14時 夜回り 20時
路上からアパートに入居し

た方を訪問 第3土曜日14時
【問合せ先】☎092・431・
1419 コース・マルセル神父
大濠カトリック会館・宣教
養成センター

- ミアサロン大濠
第1・第3水曜日10時
○みことばのお弁当
第4木曜日10時
【問合せ先】☎092・753・
6765 大濠カトリック会館

編集後記

月刊誌「福音宣教」(オリ エンス宗教研究所)に、「京・ 江戸・博多、そして巴里と いうエッセイが連載中です。 執筆者は、昨年の教区報8月 号一面に「憲法9条から平和 を考える」で寄稿くださった 南野森氏(九州大学法学部教 授 西新教会所属)で、6月

号の題目は「いったいフラン スで何が?」。 それによると、フランスで は、過去10年ほどは毎年4千 人前後だった成人受洗者数が 昨年からは急増し、今年の復活 徹夜祭では中・高生も加えて なんと1万2千人が受洗し、 過去最高の増加率だったそう です。南野氏が調べたフラン ス司教協議会の報告書によれ

GIỚI THIỆU ĐẠI HỘI GIỚI TRẺ CÔNG GIÁO VIỆT NAM TẠI FUKUOKA
福岡教区で行われたベトナム青年大会
BAN TRUYỀN THÔNG (Viet Nam)

Xin được gửi tới quý vị đôi nét sơ lược về Đại hội Giới trẻ Công Giáo Việt Nam (ĐHGTCGVN) giáo phận Fukuoka lần thứ 1.

Ngày 04.05.2024 ĐHGTCGVN được tổ chức tại Đại chủng viện Fukuoka với chủ đề "LÒNG BỪNG CHÁY CHÂN BƯỚC NHANH".

Chương trình Đại Hội diễn ra vồn vẹn 1 ngày. Buổi sáng, sau giờ đón tiếp và khai mạc với các vũ khúc sôi động, các bạn trẻ đến với 2 bài cha sẽ. Một của Đức cha Giuse Abella, một của Cha Đaminh Nguyễn Quốc Thuận. Với chủ đề "lòng bừng cháy chân bước nhanh". Cha Đaminh nhấn nhủ giới trẻ: "Hãy gắn kết đời mình với Chúa Giêsu Thánh Thể, như cành nho gắn kết với cây nho. Thì cuộc đời mỗi người sẽ được Thiên Chúa biết tới, sẽ trở nên đỉnh của đỉnh, là đẹp đẽ, là độc đáo..."

Buổi chiều, với các hoạt động đồng đội, các trò chơi nhằm gắn kết tình bạn với nhau. Dù cho các bạn đến từ các nhóm khác nhau trong giáo phận, nhưng các bạn đều chung một Đức Tin - đều chung một Chúa. Đến đây với khát vọng của tuổi trẻ, khát vọng tìm lại được ngọn lửa đang yếu dần nơi mình. Để từ đó không còn xem nhau là xa lạ, mà trở nên tình thân, trở nên một trong sự hiệp nhất tin yêu.

Kết thúc bằng Thánh Lễ, để kín mức sống nguồn sức mạnh từ Chúa Giêsu Phục Sinh, hầu vượt qua gian khó. Mọi người đều biết rằng, cuộc sống thường ngày với nhiều khó khăn. Người trẻ từng ngày đang bị kéo vào vòng xoáy của xã hội tiêu thụ và công việc. vòng xoáy chóng mặt của "cơm áo gạo tiền". Vòng xoáy đó như làm nguội dần ngọn lửa nhiệt huyết của người trẻ. Đứng trước thực trạng đó, lời mời mãnh liệt để thể hiện quyết tâm của người trẻ, cũng như tìm lại "ngọn lửa" đang yếu dần nơi mỗi người trẻ ấy lại càng trở nên khẩn thiết hơn bao giờ hết:

"Cùng ánh lửa thiêng ta nguyện đem nhiệt tâm cho đời.
Qua muôn sóng khơi cho mọi nơi niềm tin sáng ngời.
Nhiệt độ tình yêu lên rực nóng khát khao lửa thiêng."

日本語訳は
右記から→



Đại hội giới trẻ lần này với sự tham gia của hơn 350 bạn trẻ, đến từ khắp nơi trong giáo xứ thuộc giáo phận Fukuoka. Như bằng chứng cho thấy sức sống của Giáo hội thật mãnh liệt. Giáo hội vẫn rất trẻ trung, rất năng động và nhiệt thành qua hình ảnh của các bạn trẻ Việt Nam. Dù có những sa sút về đời sống đức tin nơi người trẻ nơi xa xứ, nhưng cũng còn có rất nhiều hy vọng nơi họ, có rất nhiều điểm sáng về người trẻ Công Giáo Việt Nam. Tương lai đầy hứa hẹn ấy như một lời nhắc cho những vị hữu trách: Hãy tạo cho giới trẻ những sân chơi lành mạnh, thực sự "chất". Hãy quan tâm và đồng hành với người trẻ nhiều hơn nữa, để có thể đáp ứng những khát vọng sâu xa, chính đáng của người trẻ hôm nay.



私たちと一緒に
おはなしませんか?
安心してお話が出来る人
をお探しの方へ。
メール: hanahanahimawari2020@gmail.com
☎: 080-4735-6971 (9:00-21:00)
※対応できないとき
もあります。
※原則1回30分です。
LINE 右記
QRコード
「ぶろじゅくとHana」
ぶろじゅくとHanaは、社会福祉士・
看護師・シスターなどが在籍して
いる、礼拝会を中心としたグル
ープです。

福岡教区セクハラ対応窓口
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談
ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月～金(祝日を除く)
10:00～12:00 13:00～16:00